東京大学-プリンストン大学 合同プログラム

People and Culture of Japan in the United States: Rediscovering US-Japan Relations

募集要項

2026.11

【留意事項】

(1) 募集に関する情報・応募書類等は一部変更される場合があり、また、有益な情報・よくある質問等を後日追加して掲載する場合がある。最新情報は必ず次のウェブサイトで確認すること。
https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-short_princeton-winter.html

(2) 本プログラムは、「東京大学ニューヨークオフィス（UTokyoNY）運営協議会」および「公益財団法人 小笠原敏晶記念財団」からの支援を受けて実施される。また、参加学生向けの奨学金は、「日本学生支援機構（JASSO）海外留学支援制度（協定派遣）」に基づき支給される。

1. 概要

本プログラムは東京大学とプリンストン大学の共催により、日本とアメリカの関係性を多角的な視点で考察することを目的とし、特に、明確な目的意識と強い学習意欲を持つ者のうち、これまでの海外経験が限定的である者を対象とする。参加学生には、プログラムを通じた当地での経験により、国際的な視野を広げ、その後の学修や進路選択を考える契機とすることを期待している。プログラムは東京大学ニューヨークオフィス、ラトガース大学、プリンストン大学等において春季休業中に実施する。東京大学とプリンストン大学の学生が、相互理解と親睦を深める機会とすることも、本プログラムの狙いとする。

本プログラムは東京大学ニューヨークオフィス、小笠原敏晶記念財団の支援を受けて実施する。正課外教育活動として実施されるため、修了時に単位は付与されない。プログラム中の授業やアクティビティはすべて英語で行われる。

2. 実施期間

2027 年 3 月 6 日(土)~3 月 16 日(火)（日本出発日・到着日を含む）

3. 募集人数

学部学生 8名

※国際総合力認定制度 Go Global Gateway (GGG)オンデマンド基礎講座の受講（動画の視聴 と確認テストへの回答）を完了していることが必須。
※その他応募にかかる詳細は「9. 応募資格・要件」を参照すること。

4. 募集からプログラム終了後までのスケジュール（日本時間）

時期	予定
12 月 1 日 (火) 17 時	本部国際教育推進課への問い合わせ締切
12 月 7 日 (月) 17 時	応募締切 国際総合力認定制度オンデマンド基礎講座の受講締切
12 月下旬	選考結果通知
参加学生確定後～プログラム開始日前	必要書類提出・渡航のための手続き完了

2027 年 2 月 10 日(水) 18 時～19 時	事前オリエンテーション① *全員参加必須
2027 年 2 月下旬予定	事前オリエンテーション② *全員参加必須
2027 年 3 月 6 日(土)	東京発・ニューヨーク着
2027 年 3 月 7 日(日)～14 日(日)	プログラムの実施
2027 年 3 月 15 日(月)	ニューヨーク発
2027 年 3 月 16 日(火)	東京着
プログラム終了後	事後課題提出 国際総合力認定制度の修了申請（該当する者のみ）

※本プログラムは、ニューヨークにある東京大学ニューヨークオフィス、ラトガース大学、プリンストン大学にて実施する。
※本プログラムには、全期間を通じ、東京大学グローバル教育センターの教員が引率する。
※往路・復路ともに参加者全員は本学指定の同一航空便（羽田または成田発着）を利用し、空港で集合・解散する。また、プログラム期間中は全員が指定された宿泊施設に滞在する。途中参加や私事旅行等による別行動は一切認められない。

5. 費用

本プログラムは、東京大学および公益財団法人小笠原敏晶記念財団の支援を受け、プログラム参加に係る費用のうち、航空券および現地での宿泊料は、大学が負担する予定。詳細は決定次第、通知する。

その他の、現地での食費や生活費は学生自身で負担すること。

なお、本プログラムは、東京大学グローバルリーダー育成プログラム-I (GLP-I)の Global Experiences 奨学金の支給対象とならない。

6. 奨学金

プログラム参加者のうち、要件を満たす希望者に奨学金 12 万円（返済不要）を支給する。

要件（前年度の成績評価係数等）の詳細については、別添 1「奨学金の支給要領および受給資格・要件について」を参照すること。

本プログラムに応募する者は、全員 UTAS による申請とは別に、以下のフォームで奨学金の受給希望について回答すること。

・奨学金の受給を希望しない場合であっても、フォーム内『8.プログラム付属奨学金を希望するか』の欄で、『プログラム付属奨学金を希望しない』を選んで回答する。
・プログラム実施期間中に他の奨学金の受給を受けている者は、併給状況確認のため、フォーム内の該当箇所より回答すること。
回答フォーム：https://forms.cloud.microsoft/r/mAeby6Usbd （UTokyo Account でログイン）

【奨学金受給における資格・条件】

本プログラムの奨学金は、個人・法人等からの寄附金や奨学金プログラムによる資金が充てられている。資金提供者との懇談会への出席、報告書の提出、アンケート調査への協力等の依頼があった場合には可能な限り協力すること。

※応募締切までに回答がなかった者は奨学金を希望しないものと見なす。

7. プログラム期間中の宿泊地

プログラム実施期間中は、本学からの参加学生は全員が同じ宿泊施設（ホテル・ホステルなどの宿舎を予定）に滞在予定。なお、宿泊施設では相部屋となる見込み。部屋割りに際し要配慮事項がある場合にはできる

限り考慮するため、応募時に UTAS 申請書内の「19. ジェンダーおよび部屋割りについての特記事項」に明記すること。

8. 単位等

本プログラムによる単位は付与されない。

9. 応募資格・要件

以下の要件をすべて満たすこと。

【資格・要件】

(1)国際総合力認定制度（Go Global Gateway, GGG）におけるオンデマンド基礎講座の受講（動画視聴と確認テストへの回答）を完了していること。受講の所要時間の目安は約 100 分。
≪オンデマンド基礎講座≫ https://forms.office.com/r/hJkNXSbYL2 ※UTokyo Account でログイン

(2)中・上級程度の英語力（Common European Framework of Reference for Languages (CEFR) の B1～B2 レベル）を保持していること。何らかの英語能力の証明書を提出することが望ましいが、所持していない者も応募できる。ただしその場合は、上記 CEFR の基準を確認のうえ応募すること。

(3)これまでに留学経験や海外居住歴等の中長期間海外滞在経験がなく、海外体験が限定的であること。

(4)本プログラム参加への強い志望動機があること。

(5)成績優秀であること。

(6)応募時およびプログラム参加期間を通じて、本学の学部正規課程に在学していること。（プログラム期間中に休学中の者や卒業等により本学学籍を失う者は参加できない。）

(7)本プログラムに参加するにあたり、本学の授業履修に関して特別な配慮はないことを理解し、本学の授業・試験期間、その他各自の予定等を応募前に十分確認し、**全日程参加が可能な場合のみ応募すること**。なお、本学からの参加可能人数には上限があり、選考後に辞退すると他の学生の機会を失することにつながるため、**応募後の辞退は原則として認められない。**

(8)本学の授業等に出席できない場合の扱いについては、プログラム参加時の所属学部の判断による。本プログラムへの参加に際し所属学部において特別な配慮が行われるとは限らないため、十分確認・納得したうえで応募すること。
※所属学部によっては、本プログラムへの参加により授業または試験に出席できない場合でも特別な配慮は取られず「欠席」扱いとなる場合や、欠席による追試験の申請理由にもならない場合がある。詳細は所属学部に確認すること。

(9)本プログラム参加時における本学の指導教員等が既に分かっている場合は、本プログラムに応募することを事前に報告し、了承を得た上で UTAS 申請書の所定の欄に了承を得た日付を記入すること。該当する教員等がいない学生は、所定の欄に「指導教員なし」と入力すること（本要項 16. 応募方法・応募書類(2)）。

(10)応募前に、プログラム参加時の所属学部担当部署にて、プログラム参加に関する留意点の説明を十分に受け、UTAS 申請書の所定欄に担当部署名・担当者名（イニシャルまたは氏名）・日時を記入し、納得した上で応募すること（16. 応募方法・応募書類(2)）。記入されていない場合は申請を受理しない。業務の都合等により、急な対応は受け付けられない可能性があるため締切日までに余裕をもって説明を受けられるようにすること。なお、学部により、プログラム参加にあたって独自の条件を課す場合がある。

(11) 事前オリエンテーション（2 回、対面 於本郷キャンパス）に出席すること。

(12) 海外大学での授業の受講、英語学習、異文化体験に興味を持っていること。

(13) 本学が指示する安全管理に係る手続き・案内等を理解した上で活動に参加すること。

【保険への加入】

プログラムへの参加が決定した場合、留学中の保険として、公益財団法人日本国際教育支援協会（JEES）の学研災付帯海外留学保険「付帯海学」に必ず加入することを、応募にあたり同意すること（加入に要する経費は自己負担となる）。加入にあたっての詳細は参加予定学生に追って通知する。

【派遣留学生危機管理サービスへの加入】

プログラムへの参加が決定した場合、留学中の危機管理対策として、日本エマージェンシーアシスタンス（株）の派遣学生危機管理サービス OSSMA(Overseas Student Safety Management Assistance) に必ず加入することを応募にあたり同意すること（加入に要する経費は自己負担となる）。なお、加入にあたっての詳細は参加予定学生に追って通知する。

10. 応募締切

2026 年 12 月 7 日(月) 17 時（日本時間）

※本部国際教育推進課への問い合わせは 2026 年 12 月 1 日(火) 17 時まで

11. 選考

(1) 原則、選考は書類審査による。

(2) 合否結果の連絡等についての連絡は電子メールで行うため、応募後は定期的に UTAS で電子申請時に記載された電子メールアドレスを確認すること。重要な連絡が迷惑メールフォルダに振り分けられてしまう例もあるため、注意すること。

(3) 申請時に並行して他のプログラムへの参加を申請中の場合、あるいは参加が決定している場合は、UTAS での電子申請時にその旨を「10. 併願状況」欄へ記載すること。

(4) 選考結果は、12 月下旬に、電子メールで学生本人および所属学部の担当部署に通知する。

12. 選考通過～プログラム参加決定後の留意事項

【プログラム参加手続きおよび渡航手続き】

(1)選考を通過した場合でも、手続き不備等により実際にプログラムに参加しない者には奨学金は支給しない。

(2)参加手続きおよび渡航手続き、査証（ビザ）取得手続き等は、本部国際教育推進課の指示に従うこと。これらに要する費用も本人の負担となる。書類不備や締切日の確認漏れ等の理由でプログラムに参加できなくなった場合は本人の責任となり、それにより生じた経済的損失は自己負担となる。また奨学金は支給しない。

(3)参加決定者は指定された期日までにパスポートのデータを提出すること。結果発表時点においてパスポート所持していない場合や、米国入国時において 90 日 の残存期間がない場合は、選考通過後すみやかに取得・更新を行うこと。

【学内での手続き】

(1)プログラムへの参加が決定した場合、所属学部の担当部署に確認し、海外渡航に必要な手続きを行うこと。（必要な手続きは、所属学部毎に異なる。）

(2)プログラムへの参加が決定した場合、指導教員等の関係者には事前に連絡するなどして、海外に一定期間派遣されることにより関係者の教育・研究活動に支障をきたさないよう努めること。

(3)参加学生へのオリエンテーション（2 回、対面）に必ず出席すること。

(4)応募締切後の辞退は他の学生の不利益となるため、応募後に辞退することのないよう十分注意すること。やむを得ない事情により参加を辞退しなければならない場合には、採否結果の受領前であっても遅滞なく、本部国際教育推進課（go-gateway.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp）に連絡すること。

(5)奨学金受給者が、前述の申請資格に反する事実が判明した場合、または受給者として適当でない事実があったときは、支給済の奨学金の全額または一部を返納させる。また、プログラム参加を中断・休止した場合、支給済の奨学金の全額または一部を返納させることがある。
(6)本学が指示する安全管理に係る手続き・案内等を理解した上で活動に参加すること。
(7)そのほか、本学が指示する注意事項に従うこと。

【海外渡航のための情報、危機管理】
一般的な留学のための情報や危機管理等については、Go Global ウェブサイト（https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/voyage-index.html）を参照すること。特に、危機管理ガイドブックは必ず熟読すること。

13. 事前オリエンテーション
参加が決定した学生は、2 月に実施する事前オリエンテーション（2 回）に出席すること。各オリエンテーションの内容は以下を予定しているが、詳細は参加決定者に改めて通知する。なお、授業や試験等のやむを得ない事情で出席が難しい場合には、事前に本部国際教育推進課へ相談すること。
●日程
2027 年 2 月 10 日(水) 18 時～19 時
2027 年 2 月下旬 時間未定
●場所：本郷キャンパス グローバル教育センター（理学部 1 号館東棟 1 階）

14. プログラム参加の際の注意事項
(1)プログラムの趣旨を理解の上、十分な学習成果を挙げ、プログラムを修了することに努めること。
(2)参加学生は本学を代表する立場にあることを自覚し、滞在先の機関・国の法令、規則、規程、マナー等を遵守すること。
(3)プログラム中に写真や動画を撮影する可能性があること、将来それらが東京大学やプリンストン大学の広報素材や本学の教育素材として使用される可能性があることを予め了承すること。

15. 参加後の報告等
(1)プログラム終了後、指定された期日までに事後課題を提出すること。内容、提出期日、提出方法等の詳細は追って参加者に連絡する。
(2)プログラム終了後に国際総合力認定制度（Go Global Gateway, GGG）の修了認定を申請すること（既に認定済、または認定申請中の場合は、再度申請する必要はない）。なお、前期課程修了要件となっている外国語科目の単位を未取得の場合には、全単位取得後に認定申請を行うこと。
≪認定申請フォーム≫https://forms.office.com/r/bKvXBBemnD ※UTokyo Account でログイン
(3)奨学金の受給者については、上記以外にも指定された報告書類等を提出すること。
(4)応募時に UTAS 申請書に記載した住所や電話番号・電子メールアドレスに変更があった場合は、本部国際教育推進課（go-gateway.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp）へ連絡すること。プログラム終了後も必要事項の連絡の際に必要となるので留意すること。
(5)参加学生には、プログラム参加後、報告会や説明会への参加のほか、本学の国際化に関する業務への協力（留学プログラムの広報や学生へのアドバイス、アンケート調査等）を依頼する場合がある。依頼があった場合、やむを得ない事情のない限り協力すること。

16. 応募方法・応募書類
(1)応募締切日時までに学務システム（UTAS）からの電子申請を完了させること。
応募締切以降、電子申請システムは閉じられ、申請は一切受け付けない。また、大きな不備（特に募集要項

や UTAS 電子申請画面に表示される青字の説明に沿っていない不備）のある申請は受理されない可能性があるため、余裕を持って応募書類を作成・確認し、応募すること。応募締切後も差し戻しの場合があるので、申請について差し戻しを受けた場合は、指定される期日までに再提出すること。（応募締切直前の申請は特に、本部国際教育推進課から送信されるメールをよく確認のこと）。

(2)**UTAS 電子申請画面に表示される指示・説明をよく確認し、その通りに入力**すること（以下は特に注意が必要な項目）。

・「2. 基本情報」および「4. 家族等関係者の連絡先」は申請画面では記入・変更できない。そのため記入または変更が必要な場合は、応募時の所属学部の担当係に記入・修正方法を確認し、正しい内容を記入した状態で申請すること。

・「3. 申請者本人の連絡先」E-Mail は、本プログラムに関するやり取りに使うため、添付ファイル等も受信できる利用し易いメールアドレスとすること。本プログラムに関する連絡に際して、当欄に記載されているもの以外のメールアドレスの使用を希望する場合には、「15. 連絡先メールアドレスについて」にそのアドレスを記載すること。

・「6. プログラム中の所属・学年」指導教員等氏名について、指導教員がいない場合は「なし」と入力すること。いる場合は、「17. 指導教員への連絡」に了承を得た日付を入力すること。

・「13. 略歴・性格・特技等」については、特に海外滞在・留学/USTEP（全学交換留学）・渡航歴等の海外経験または予定がある場合には国名・時期・目的を記載すること。

・「14. 本プログラム参加を希望する理由」には、志望理由を日本語の場合 800 字程度、英語の場合 400 words 程度で記述すること。また、記載した字数／word 数を各自でカウントし、志望理由の末尾にカッコ書きで明示すること。

・「15. 連絡先メールアドレスについて」「16. 募集要項と誓約書に記載の事項について」は、UTAS 上に記載された指示に沿って確認・入力すること。

・「18. プログラム中所属する学部・研究科からの留意事項確認」には、プログラム参加時の所属学部の担当部署から参加に関する留意点の説明を受けた上で、①担当部署名・②担当者名（イニシャルまたは氏名）・③説明を受けた日付・時刻を記入すること。記入されていない場合は申請を受け付けない（例：①教養学部△△チーム・②H. T. ・③11 月 22 日 14 時 30 分）

(3)電子申請時に「20. 添付資料」でアップロードする書類については、下表を参照のこと。

応募書類		対象者	提出方法・備考
誓約書		**全員**	・指定書式（ダウンロード）に**記入・署名後**、PDF で「20. 添付資料」へアップロードする。 電子署名も可とする。 ・保証人欄は家族等、学生本人が制約事項を遵守することを保証できる者の署名を記入すること。
語学能力証明書			**語学能力証明書を保持している場合は提出すること。**
	TOEFL iBT、IELTS	保持者のみ	電子申請時「9. 語学能力」で入力した場合、提出必須。（※1）参照。証明書が複数ある場合は、全て一つのファイル（PDF）にまとめて提出すること。
	TOEFL iBT、IELTS 以外	保持者のみ	電子申請時「9. 語学能力」で入力した場合、提出必須。（※2）参照。証明書が複数ある場合は、全て一つのファイル（PDF）にまとめて提出すること。
	*英語能力試験等を	該当者のみ	電子申請時に「9. 語学能力」にその旨を入力す

受験していない場合		ること。
高等学校の成績証明書	奨学金を希望し、かつ学部1年次1学期目で前学期の成績がない者のみ	高等学校の5段階評価の通知書・調査書等。 奨学金の選考で使用。

（※1）語学能力証明書（TOEFL iBT, IELTS）（応募締切日時点で、有効期限内のものとする。有効期限は各試験実施団体等のホームページ等の公式情報を参照のこと。）

次のいずれかの提出を受け付ける。

・TOEFL iBT または IELTS（アカデミック・モジュール）のスコアの写し（受験後にウェブ上で確認できるスコアの写しでも可とする）。

（※2）語学能力証明書（TOEFL iBT, IELTS 以外）

TOEFL iBT または IELTS（アカデミック・モジュール）のスコアを所持していない者や、TOEFL iBT または IELTS（アカデミック・モジュール）のスコアに加えて他の語学能力証明書を持っている者は、以下のいずれかを提出することができる。

・TOEFL ITP、TOEIC、実用英語技能検定のスコアの写し。

・その他の英語能力試験等の成績証明書を提出する場合は、その成績証明書の写しおよび、その英語能力試験等に関する説明文書（様式任意。ただし A4 サイズ）。説明文書の内容には、試験概要や、上記の英語能力試験への成績換算表等を含めること。

・英語以外の語学能力試験のスコアの写し。

【電子申請応募先】

学務システム（UTAS）にログイン後、画面上部にある「海外派遣」タブより申請すること（「海外派遣プログラム申請の手引き」を参照のこと）。

・学務システム（UTAS）： https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/

・海外派遣プログラム申請の手引き（PDF ※UTokyo Account でログイン）：
https://univtokyo.sharepoint.com/:f:/s/msteams_8b031a-32/Evav86pIceZEnMPQKTIVreQB94w-ngE8ssT0vwK-uIwvpg?e=AFwPNu

【応募書類指定書式のダウンロード先】

以下の Go Global ウェブページよりダウンロードすること。
https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-short_princeton-winter.html

17. 問い合わせ先

※電子メールで問い合わせる場合は、必ず件名・氏名・所属・学年・電話番号を明記すること。

(1)プログラムの内容、申請や手続き、奨学金に関すること：
本部国際教育推進課国際支援チーム（go-gateway.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp ）

(2)UTAS 電子申請「2. 基本情報」および「4. 家族等関係者の連絡先」記入・修正方法：
応募時の所属学部の担当部署（※）

(3)本学での学務関係の事項：プログラム参加時の所属学部の担当部署（※）

※各学部の担当部署一覧 https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/contact-department.html

＜参考＞プログラム内容（募集要項公開時点）

●プログラム中のスケジュール（概略）

日程	場所	内容
3 月 7 日(日)～10 日(水)	東京大学ニューヨークオフィス	・イントロダクション ・ウェルカムランチ ・授業 ・国連本部、The New York Times 訪問等
3 月11 日（木）	ラトガース大学	・ラトガース大学訪問 （授業、交流プログラム実施等）
3 月12 日（金） ～14 日（日）	プリンストン大学	・授業 ・リフレクションセッション ・フェアウェルランチ ・観劇、美術館訪問等

●2025 年度 プログラム実績

2026 年 3 月 7 日（土）日本出発、3 月 17 日（火）日本帰国

それぞれの滞在地での訪問先やプログラム内容

★東京大学ニューヨークオフィス：

ニューヨーク大学(Neuroscience Lab)訪問

オペラ鑑賞: Madama Butterfly at the Metropolitan Opera

国際連合本部訪問

★ラトガース大学

★プリンストン大学： Panel Discussion with UTokyo Alumnus

★その他 日本語での交流セッション実施

以上